

第2回ノーメディアデーの取り組み状況について

第2回ノーメディアデーのアンケート調査へのご協力、大変ありがとうございました。

約7割のご家庭からご回答頂きましたが、『(ア)しっかり取り組めた』『(イ)だいたい取り組めた』ご家庭が78%、『(ウ)あまり取り組めなかった』『(エ)取り組めなかった』ご家庭が22%という結果でした。

【ご感想・取り組み例】の蘭にもたくさんの方々にご記入頂きましたが、その一部を回答の項目別に紹介させていただきます。

	1年	2年	3年	全校
(ア) しっかり取り組めた	13%	29%	25%	22%
(イ) だいたい取り組めた	62%	58%	48%	56%
(ウ) あまり取り組めなかった	17%	12%	19%	16%
(エ) 取り組めなかった	8%	1%	8%	6%
回答数 (回答率)	86名 (69%)	94名 (71%)	85名 (63%)	265名 (68%)

※あくまでも自己評価ですので、各学年の数値を単純に比較することはできません。

第1学年

『(ア)しっかり取り組めた』

○学校での取り組みだと決まっていると、素直に取り組めるようでよかったです。

『(イ)だいたい取り組めた』

○LINEのやりとりがなかったことで、静かな時間を過ごすことができました。平日も継続できれば集中力が上がるのでは？と思いました。

○スマートフォンは電源を切り、父親に預けました。そうしたことにより、集中して学習に取り組めたと思います。

○リビングのテーブルで勉強しているため、親もなるべくテレビをつけないように気をつけました。自室で勉強してくれると良いのですが……。

○つい忘れてTVなどをつけていましたが、言うとなぐ消していました。普段はなかなかできないので、改めてノーメディアデーを決めて頂けると、本人も納得して取り組みやすい。

○今までよりは意識して取り組みました。親の協力も必須なのだと改めて感じています。

○リビングのTVはつけないなど、家族も協力するように心がけました。

『(ウ)あまり取り組めなかった』

○テスト期間だったので、あえてノーメディアデーとは言いませんでした。しかし、しっかりゲームはしていた様で、家族でも「ノーメディア宣言」すべきだったと反省しています。

○リビングのTVがずっと流れているので、どうしても気になってしまうようです。親の私たちも意識して取り組みを守りたいと思います。

○ながら勉強はなぜ効率が悪いのか、どうすれば効率よく勉強ができるか、どうすれば記憶にとどまるか、等の知恵があれば、前向きに取り組めるのかもしれないなあと感じました。

『(エ)取り組めなかった』

○テスト勉強の意味がまったく分かっていない。宿題をすれば終わりだと思っている。結局空いた時間をメディアに使うこととなった。小学校と違うことを分かってほしい。

○テスト勉強中はなるべくノーメディアを心がけていたようですが、その他の時間はついつい携帯を使用してしまったり、完全にノーメディアデーにはなりませんでした。

第2学年

『(ア)しっかり取り組めた』

- 自分の意志で自分のスマートフォンを、6/19～6/28まで親に預け学習に集中できたのは、とても良かったと思います。
- この期間中は親がゲーム機等を全て預かっていたので、いつもより学習に集中できていたように思う。
- 本人はもちろん、家族みんなが「テスト前はノーメディアデー」という意識を持つようになり、楽に取り組めるようになりました。
- 今の子どもたちは、何と多くの通信機器に囲まれているか、ノーメディアデーのたびに実感させられます。メディアがなければ不便ですが、振り回されることのないよう、上手く関わってほしいです。ちなみに、今回、息子は中間テストのリベンジに燃えていたため、中総体後はほぼノーメディアデーでした。明確な目標があるとメディアと適度な距離を保てることを再認識できたようです。
- 小中どちらかだけがノーメディアデーだと、見れない方がストレスになるようです。なので、小中一緒に取り組んでくれて助かりました。

『(イ)だいたい取り組めた』

- 小中連携の取り組みというところがいい。回数を増やしてもいいのでは……と親は思うのですが。
- 本人も意識して取り組んでちゃんと勉強していました。LINEが出来ないので、毎日気づくといじっている携帯電話をいじっていなかったのも、母はうれしかったです。
- テスト勉強への意欲が出たのか、ほとんど声かけしなくても、ノーメディアで過ごせたのではないかと思います。やはり、集中力に差が出ることを実感したので、とても良い取り組みだと思います。

『(ウ)あまり取り組めなかった』

- 毎回何度注意してもゲームが止められません。勉強もちゃんとしているようですが、中学生なので機器を取り上げる方法ではなく、何とか自分で我慢できるようになってほしいと思っているのですが…。

『(I)取り組めなかった』

- 今の時代、ノーメディアはムリ。大人からできますか？できないことを子どもにやらせないで。

第3学年

『(ア)しっかり取り組めた』

- 小中連携のおかげで取り組みやすかった。
- 小学生の妹の取り組みに合わせ、1週間ほぼノーメディアで過ごしました。
- 期末テストの最中ということもあり、27日(木)は取り組みができたが、ノーメディアデーに関わらず、心がけていきたいと思います。

『(イ)だいたい取り組めた』

- 日常の一部となったメディア関係ですが、ひとつの電源を切るだけでも違う時間が過ごせることが分かり、大切なことなのだなと親子で実感しました。
- 子どもだけでなく親自身がテレビをつけない、スマホを必要なときのみ使用するよう心がけ、親子で取り組みができたことがよかったと思います。受験に向けて習慣化させていきます。
- リビング学習が主なので、家族皆で取り組むように意識しました。大人がメディア漬けと痛感しました。
- 3年生なりに受験生としての自覚が出てきたのか、ノーメディアデーを意識しているように感じました。
- 部屋へタブレットを持ち込まないように意識しました。

『(ウ)あまり取り組めなかった』

- 声かけは何度もしたのですが、通信機器などを家庭内で取り除いた環境にはしませんでした。子どもだけに任せず、次回は親子で取り組んでいきたいです。
- 頑張っ取り組もうという気持ちはあったようですが、高校生の兄弟が使用していると、ついつい使用してしまっていました。なかなか難しい感じでした。
- 学習は集中してやっていたのですが、普段から、テレビ、タブレット、スマホの使い方を、大人も子どもと一緒に考えようと思いました。

『(I)取り組めなかった』

- 帰ってくればタブレット。もっと危機感を持ってほしいものです！
- 声かけして、ノーメディアデーを意識させるが、どうしてもタブレットに手をかけて、ゲームや動画を見るが多かった。